

国際ヒバクシャ医療学分野

A 欧文

A-a

1. Matsushima K, Isomoto H, Yamaguchi N, Inoue N, Machida H, Nakayama T, Hayashi T, Kunizaki M, Hidaka S, Nagayasu T, Nakashima M, Ujifuku K, Mitsutake N, Ohtsuru A, Yamashita S, Korpala M, Kang Y, Gregory PA, Goodall GJ, Kohno S, Nakao K: MiRNA-205 modulates cellular invasion and migration via regulating zinc finger E-box binding homeobox 2 expression in esophageal squamous cell carcinoma cells. J Transl Med 9(1):30, 2011 (IF:3.508) *○
2. Suzuki K, Mitsutake N, Saenko V, Suzuki M, Matsuse M, Ohtsuru A, Kumagai A, Uga T, Yano H, Nagayama Y, Yamashita S: Dedifferentiation of human primary thyrocytes into multilineage progenitor cells without gene introduction. PLoS One 6(4):e19354, 2011 (IF:4.411) ◇
3. Koshimoto R, Nakane H, Kim H, Kinoshita H, Moon DS, Ohtsuru A, Bahn G, Shibata Y, Ozawa H, Yamashita S: Mental health conditions in Korean atomic bomb survivors: a survey in Seoul. Acta Med Nagasaki 56(2):53-58, 2011 ○
4. Imaizumi M, Sera N, Ueki I, Horie I, Ando T, Usa T, Ichimaru S, Nakashima E, Hida A, Soda M, Tominaga T, Ashizawa K, Maeda R, Nagataki S, Akahoshi M: Risk for progression to overt hypothyroidism in an elderly Japanese population with subclinical hypothyroidism. Thyroid 21(11):1177-1182, 2011 (IF:4.327) *
5. Nakamura K, Ogata M, Ando T, Usa T, Kawakami A: Paroxysmal thyroid swelling. A forgotten clinical finding of pheochromocytoma. J Clin Endocrinol Metab 96(12):3601-3602, 2011 (IF:6.495) *

B 邦文

B-a

1. 熊谷敦史, 大津留 晶, 難波裕幸, 穴見正信, 伊東正博, Espenbetova M, 山下俊一: 穿刺吸引細胞を用いた迅速 BRAF 遺伝子変異解析の臨床応用. 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌: 31-35, 2011
2. 大津留 晶: 長崎よりの福島第一原発原子力災害医療支援活動. 日本病院会雑誌: 1112-1116, 2011

B-b

1. 大津留 晶, 山下俊一: 甲状腺腫瘍 甲状腺腫瘍の治療 甲状腺腫瘍の組織型別治療方針 甲状腺未分化癌 日本臨床 69 (増刊号): 356-361, 2011
2. 大津留 晶, 熊谷敦史, 山下俊一: 長崎大学病院からの医療支援～福島第1原発原子力災害を考える～. 日本医療マネジメント学会第10回九州・山口連合大会抄録集: pp. 66, 2011

B-c

1. 大津留 晶: 第3章、第13章(長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(編): 21世紀のヒバクシャ, 長崎新聞新書, 長崎, pp.41-53, 184-198 所収) 2011
2. 熊谷敦史: 第6章(長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(編): 21世紀のヒバクシャ, 長崎新聞新書, 長崎, pp.81-101 所収) 2011
3. 熊谷敦史, 柴田義貞: 第11章(長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(編): 21世紀のヒバクシャ, 長崎新聞新書, 長崎, pp.158-173 所収) 2011

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	1	0	2	1	0

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
大津留 晶・准教授	長崎県地域防災計画検討委員会委員	長崎県
大津留 晶・准教授	佐賀地区「緊急被ばく医療ネットワーク検討会」委員	原子力安全研究協会
大津留 晶・准教授	長崎県緊急被ばく医療ネットワーク検討会委員	原子力安全研究協会
大津留 晶・准	被ばく医療講師連絡会委員	原子力安全研究協会

教授		
大津留 晶・准教授	被ばく医療講師連絡会・専門講座ワーキンググループ委員	原子力安全研究協会
宇佐俊郎・講師	長崎県緊急被ばく医療ネットワーク検討会委員	原子力安全研究協会
宇佐俊郎・講師	長崎県緊急被ばく医療ネットワーク検討会作業部会委員	原子力安全研究協会
宇佐俊郎・講師	佐賀地区「緊急被ばく医療ネットワーク検討会」委員	原子力安全研究協会
熊谷敦史・助教	長崎県緊急被ばく医療ネットワーク検討会委員	原子力安全研究協会
熊谷敦史・助教	長崎県緊急被ばく医療ネットワーク検討会作業部会委員	原子力安全研究協会
熊谷敦史・助教	被ばく医療講師連絡会委員	原子力安全研究協会
熊谷敦史・助教	初級講座ワーキンググループ委員	原子力安全研究協会
熊谷敦史・助教	福島県「放射線と健康」アドバイザー	福島県
熊谷敦史・助教	東電福島第1原発の医療体制に関する連絡会議委員	東電福島第1原発救急医療体制ネットワーク

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
大津留 晶・准教授	文部科学省	分担	研究拠点形成費補助金 放射線健康リスク制御国際戦略拠点
大津留 晶・准教授	広島大学・長崎大学・文部科学省	分担	国際放射線被ばく者先進医療開発研究 (広島大学・長崎大学連携融合事業)
熊谷敦史・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (B) セミパラチンスク旧核実験場周辺地域がん 検診を通じた放射線被ばくの発癌影響の解 明

その他

非常勤講師

氏名・職	職(担当科目)	関係機関名
大津留 晶・准教授	非常勤講師(被ばく医療プロフェッショナル育成計画)	弘前大学被ばく医療総合研究所

講演等

氏名・職	講義・実習等	関係機関名	開催日・開催場所
大津留 晶・准教授	講義3 長崎大学の緊急被ばく医療の取り組み 緊急被ばく医療専門講座 I I (医療関係者コース)	原子力安全研究協会・文科省	2011年1月14日 長崎大学医学部
熊谷敦史・助教	机上演習 弘前地域の仕組みを理解する -4つのケース対応- 青森県緊急被ばく医療初級講座	原子力安全研究協会・文科省	2011年3月12日 弘前大学医学部コミュニケーションセンター
熊谷敦史・助教	講演「福島第1原発原子力災害について」 長崎市職員放射線講習会	長崎市役所	2011年4月28日 長崎市役所

熊谷敦史・助教	「福島第1原発による災害とこれから」	核兵器廃絶地球市民長崎集会	2011年4月30日 長崎市原爆資料館
熊谷敦史・助教	講演「緊急被ばく医療」 茨城県被ばく医療機関DMAT施設見学会	独立行政法人国立病院機構災害医療センター	2011年5月12日 独立行政法人国立病院機構水戸医療センター
熊谷敦史・助教	講演「福島第1原発原子力災害について」 東日本大震災被災地（福島県）派遣職員説明会	長崎県庁	2011年6月3日 長崎県庁
熊谷敦史・助教	講演「福島第1原発原子力災害について」 東日本大震災被災地（福島県）派遣職員説明会	長崎県庁	2011年6月23日 長崎県庁
熊谷敦史・助教	机上演習 長崎地域の仕組みを理解する -4つのケース対応- 長崎県「緊急被ばく医療初級講座」	原子力安全研究協会・文科省	2011年7月2日 国立病院機構長崎医療センター
大津留 晶 ・准教授	福島第一原発原子力災害について-放射線と放射能を理解する-	平成23年度長崎県医師会勤務医部会総会	2011年7月2日 長崎県医師会館
大津留 晶 ・准教授	広島～チェルノブイリ～福島 放射線の影響	北九州社会教育・生涯学習研究会	2011年7月10日 北九州市立生涯学習総合センター
熊谷敦史・助教	講演「放射線の基礎知識と健康影響」 相馬地方広域消防本部緊急時メンタルサポート講演	総務省・消防庁	2011年7月12日 「道の駅南相馬」ホール
熊谷敦史・助教	講義2 放射線事故の歴史 佐賀県「緊急被ばく医療初級講座」	原子力安全研究協会・文科省	2011年7月23日 唐津赤十字病院
熊谷敦史・助教	講演「福島第1原発原子力災害について」 東日本大震災被災地（福島県）派遣職員説明会	長崎市役所	2011年7月27日 長崎県市町村会館
熊谷敦史・助教	机上演習 鳥取地域の仕組みを理解する -4つのケース対応- 鳥取県「緊急被ばく医療初級講座」	原子力安全研究協会・文科省	2011年8月27日 鳥取大学医学部
熊谷敦史・助教	福島救急医療シンポジウム 教育講演 「放射線の影響を考える」	福島県立医科大学	2011年9月4日 福島県医師会館
熊谷敦史・助教	講義「放射線の基礎知識」、実験「みえる、はかる、放射線」、ワークショップ 放射線に関する教育職員セミナー 校種別コース（熊本県・大分県・宮崎県/小学校コース）	原子力安全研究協会・文科省・熊本県教育委員会	2011年9月13日 熊本市立弓削小学校
大津留 晶 ・准教授	机上演習 岡山地域の仕組みを理解する -4つのケース対応- 岡山県「緊急被ばく医療初級講座」	原子力安全研究協会・文科省	2011年9月17日 国立病院機構岡山医療センター
熊谷敦史・助教	講義「緊急被ばく医療における汚染対応」 神奈川県「緊急被ばく医療初級講座」	原子力安全研究協会・文科省	2011年9月20日 横浜プラザホテル
熊谷敦史・助教	実習2 除染実習-汚染を伴った外傷患者の取り扱い- 佐賀県「緊急被ばく医療基礎講座I（除染コース）」	原子力安全研究協会・文科省	2011年9月25日 佐賀大学医学部
熊谷敦史・助教	放射線の基礎知識と福島原発事故における対応 九州若手記者合同研修	長崎新聞社	2011年10月14日 長崎新聞文化ホール
宇佐俊郎・	放射線医学（内部・外部被曝）概論及び	長崎県放射線技師研修会	2011年10月20日

講師	原子力発電所事故に係る対応について		長崎県庁
熊谷敦史・助教	講演「放射線の基礎知識と内部被ばくの影響」 長崎市被ばく線量結果に関する説明会	原子力安全研究協会・文科省	2011年10月25日 長崎市役所
熊谷敦史・助教	机上演習 川内地域の仕組みを理解する －4つのケース対応－ 鹿児島県「緊急被ばく医療初級講座」	原子力安全研究協会・文科省	2011年11月5日 川薩保健所

在外被爆者健診

氏名・職	活動内容	実施場所	実施日
大津留 晶・准教授	第15回在韓被爆者健康相談事業	ソウル赤十字病院	平成23年9月4日～9日
熊谷敦史・助教	第16回在韓被爆者健康相談事業	大韓赤十字社大邱慶北血液院	平成23年11月6日～11日

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
大津留 晶・准教授	緊急被ばく医療	長崎新聞	2011年 4月4日	被ばく医療崩壊－福島で奮闘 長崎大の専門家医師らに講義、不安ぬぐう
大津留 晶・准教授	緊急被ばく医療	長崎新聞	2011年 4月11日	見えぬ恐怖現場緊迫 動き出す被ばく医療 長崎と福島の連携 上
熊谷敦史・助教	緊急被ばく医療	長崎新聞	2011年 4月22日	「放射線の影響覚悟」動き出す被ばく医療 長崎と福島の連携 中
熊谷敦史・助教	緊急被ばく医療	西日本新聞	2011年 5月1日	「内部被ばく長期調査を」長崎原爆資料館ホールで講演
大津留 晶・准教授	緊急被ばく医療	長崎新聞	2011年 5月11日	震災の地で 長崎大活動記2 他団体と福島医大を支援
熊谷敦史・助教	緊急被ばく医療	毎日新聞	2011年 5月17日	「放射線を正しく知ろう」 被爆地長崎で講演会
熊谷敦史・助教	緊急被ばく医療	西日本新聞	2011年 6月15日	二つのヒバク地 福島と長崎 中 前例のない医療に誇り
大津留 晶・准教授	緊急被ばく医療	読売新聞 長崎新聞	2011年 7月9日	中学校で放射線授業 ヒバクシャ医療協力会「正しく恐れて」
大津留 晶・准教授	緊急被ばく医療	読売新聞	2011年 7月21日	東日本大震災と医療 放射線正しい知識伝える
熊谷敦史・助教	緊急被ばく医療	週刊東洋経済	2011年 7月23日	緊急被曝医療の実態 「『原発で死者100人』も覚悟した」
熊谷敦史・助教	緊急被ばく医療	福島民報	2011年 7月31日	被ばく医療の系譜《下》 研究生かし「福島を守る」
熊谷敦史・助教	緊急被ばく医療	読売新聞	2011年 8月4日	長崎、チェルノブイリの経験生かす 被ばく医療支える使命
熊谷敦史・助教	緊急被ばく医療	福島民報	2011年 9月5日	放射線の影響や救急医療を学ぶ 福島でシンポ

○特筆すべき事項

- ① 国際ヒバクシャ医療協力活動の一環として、厚生労働省・長崎県・長崎市・広島県と共に、韓国・南米・北米の在外被爆者に対する健診活動や渡日治療を遂行している。
- ② チェルノブイリ原発事故周辺地域・カザフスタン核実験場周辺地域・その他の地域におけるヒバクシャ健診活動に加え、JICA、NASHIM、長崎県などと協力し、世界各地域からの被ばく医療・学術研修の受入を行っている。
- ③ 文部科学省・長崎県・放医研・広島大学・原子力安全研究会との連携の基、緊急被ばく医療関連の研究・教育・ネットワーク構築活動を推進している。
- ④ 福島原発事故後の被ばく医療支援を行っている。
- ⑤ 難治性甲状腺がんに対する、放射線分子標的治療臨床研究を行っている。